

第39回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・監督者会議

大会規模・参加クラブ数 877 参加人数・男子 1,962名・女子 1,503名 計 3,465名

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2016年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・B決勝・決勝ともに8レーンで行い、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 予選とB決勝・決勝を行う。B決勝は自由形800m・1500mのみ予選申込者25名以上の種目に限って行う。
- (4) 決勝・B決勝進出は予選の結果、上位8名が決勝に、9位から16位の選手がB決勝に出場できる。棄権者が出たときは、次点上位者より順次出場権を与える。補欠は2名とする。
- (5) 決勝進出について、同記録で予定人数を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし自由形800m・1500mは抽選によって優先順位を決定する。補欠が同記録で複数いる場合、優先順位も同様に抽選を行う。
- (6) 招集は競技開始20分前から行う。招集の際に水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、当日の9:10までにインフォメーションデスク(Resolution)に届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、3,000円の棄権料を徴収する。決勝・B決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合はその予選競技終了後1時間以内に棄権料3,000円を添えて届け出ること。予選、決勝、B決勝のいずれも無断で棄権した場合には、棄権料とは別に罰金3,000円を徴収する。
- (8) 競技は、女子はA面、男子はB面で行う。下記の競技はA面とB面を入れ替えて行う。
招集は変更された招集所で行う。
 - ・ 1日目 No.26. 男子CS 400m自由形 予選 (A面)
 - ・ 1日目 No.28. 男子CS 400m自由形 予選 (A面)
 - ・ 2日目 No.102. 男子CS 1500m自由形 予選4・5組 (A面)
 - ・ 3日目 No.140. 男子13~14才 4×100mフリーリレー 予選 (A面)
 - ・ 3日目 No.142. 男子CS 4×100mフリーリレー予選4・5組 (A面)
 - ・ 4日目 No.220. 男子CS 4×100mメドレーリレー予選 (A面)
- (9) リレーオーダーは、予選は9:30までに、決勝は該当予選競技ランキング発表後30分以内にインフォメーションデスク(Resolution)に提出すること。
- (10) リレーの引き継ぎ判定は、PT8000により行う。
- (11) 予選競技のスタートは、オーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中で待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。ただしフリーリレー、メドレーリレー、背泳ぎおよび各種目の最終組については、速やかに自レーンより退水すること。
- (12) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。
- (13) 800m・1500m自由形ではA面は水中ラップカウンター、B面は周回板を使用する。
周回板は、折り返し側の台中央に提示し、コールは行わない。
- (14) 公式計時セイコーによる計時バックアップはA面水中バックアップシステム、B面は半自動装置を使用する。
- (15) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (16) 予選は組のみの紹介、決勝・CSのB決勝は選手紹介を行う。CSの決勝はゲート紹介入場とする。
- (17) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (18) 本大会はADコントロールを行うので、常にADカードを携帯すること。

2. 表彰・得点・記録証について

- (1) 1位~3位にメダルならびに賞状、4位から8位に賞状を授与する。
- (2) 表彰は、12歳以下は8位まで、13歳以上は3位まで行う。
- (3) 13歳以上の4位から8位までの賞状は、選手更衣室出入口の賞状発行所で授与する。
- (4) 決勝種目終了後、女子・男子の順で表彰を行うので入賞者は所定の位置で待機すること。
- (5) 12歳以下の団体、優秀選手、優秀コーチの表彰は、2日目12歳以下の全競技終了後に行う。その他の表彰は最終日の閉会式で行う。
- (6) 優勝した選手は個人表彰の対象となるので、各表彰式まで残ること。表彰式に残れない選手は必ずインフォメーションデスク(Resolution)に申し出ること。
- (7) 団体総合表彰は8位までを表彰する。
- (8) クラブ対抗の得点、CSにおける16歳以下の入賞者に対する加算点は要項による。
- (9) 記録証は、日本水泳連盟ホームページより記録証印刷システムを使用し、各クラブで作成すること。

3. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選開始	決勝開始	終了予定	閉門時間
1日目 3月27日(月)	7:15	9:45	15:10	17:25	18:00
2日目 3月28日(火)	7:15	9:30	13:30	16:45	18:45
3日目 3月29日(水)	7:15	9:30	14:50	18:10	18:45
4日目 3月30日(木)	7:15	9:30	13:45	16:30	17:30

* 27日(月) 開会式9:30~ * 開始式14:50~

* 28日(火) 12歳以下表彰式15:25分~ * 800m/1500m予選15:40~

* 30日(木) 閉会式16:10~

4. プール使用について

(1) メインプール

- ① 水温は28.0度、水深は2.0mに設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。(予選競技前のA面は9:00まで、B面は9:15までとする)
- ③ A面は1・2レーン、B面は7・8レーンをダッシュレーンとする。レーンの増設については、通告および電光表示板で連絡を行う。なおA面1レーン、B面8レーンにバックストロークレッジを設置する。
- ④ 昼休みの練習は決勝・B決勝出場者のみとする。
- ⑤ ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑥ 公式スタート練習は8:30~9:15(A面は9:00まで)の間に行う。
- ⑦ パドルおよびコード類の使用を禁止する。
- ⑧ 2日目全競技終了後、18:00まで練習時間を設定する。

(2) サブプール

- ① 水深1.2m~1.4m。
- ② 水温28.5度に設定する。
- ③ 予選時はサブプール1~3レーンを女子専用、5~7レーンを男子専用とし、時間を限定し2・6レーンをペースレーンとして400m以上の専用アップレーンとする。
- ④ 飛び込みは禁止する。4レーン(バックストロークレッジ付きスタート台設置)はコーチの管理下においてスタート練習ができる。
- ⑤ 競技中はホイッスルの使用を禁止する。
- ⑥ パドルの使用および混雑時のコード類の使用は禁止する。

5. 水泳場の使用について

- (1) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
- (2) 選手、付添監督・コーチエリアには、一般は入ることは出来ない。
- (3) 選手、付添監督・コーチは電光掲示板横とダイビング側階段を使用できる。
- (4) ADカードは、館内にいるときは常時首からさげていること。また入場の際には必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。会場でのADカード発行(再発行を含む)は1,000円を徴収する。
※ 選手、付添監督・コーチのADカードは、すべて自分で写真を添付(糊付け)すること。
- (5) 更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し控え場所にはしないこと。

6. 注意事項、その他

- (1) 公式掲示板を2階エントランスおよび選手更衣室出入口付近に設ける。
- (2) プログラムの訂正およびミスプリントは、当日9:00までに所定の用紙に記入の上、インフォメーションデスク(Resolution)に届け出ること。(前日に提出可能な届出は受け付ける)
- (3) 保護者および関係者の撮影許可証(有料)は、参加クラブからの申し込みが必要となる。
※ 撮影許可証は常時首から掛け確認できるようにすること
※ 選手、付添監督・コーチのADカードおよびクラブ関係者席のADカードは撮影許可証となる。
- (4) 使用する水着は、FINA承認の水着を着用すること。水着の重ね着、2次加工は認めない。
- (5) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (6) 盗難防止の為、貴重品の管理については各クラブの責任において行うこと。
- (7) 忘れ物は一般出入口受付にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分とする。
- (8) 日本記録(高校・中学・学童を含む)の発生が見込める外国籍の選手、または日本国籍を得てから3年以内の選手は、監督者会議終了後インフォメーションデスク(Resolution)まで申し出ること。
- (9) 競技結果を、SEIKO競泳リザルト速報サービス(<http://swim.seiko.co.jp/>)
日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコード・モバイル」(<http://j-swim.jp>)において確認できる。
- (10) インターネットにより映像配信は、『Abema フレッシュ』にてLIVE配信予定。